

第 173 回 福岡産科婦人科学会

プ ロ グ ラ ム

(現地開催＋後日オンデマンド配信)

会 場 北九州国際会議場

〒802-0001 北九州市小倉北区浅野 3 丁目 9 番 30 号

TEL 093 - 541 - 5931

日 時 令和 8 年 9 月 27 日 (日)

9:30 ～ 理 事 会 (21 会議室)

10:30 ～ 専門医制度委員会ならびに学会雑誌編集委員会 (21 会議室)

11:00 ～ 評 議 員 会 (21 会議室)

13:00 ～ 総 会 (メインホール)

13:10 ～ 専 門 医 共 通 講 習 (メインホール)

14:15 ～ 学 術 講 演 会 (メインホール)

17:35 終 了

現地＋後日オンデマンド配信形式での学会開催とします。(ライブ配信はありません)詳細につきましては福岡産科婦人科学会のホームページにおきまして、随時情報を更新いたします。

1. 第 173 回福岡産科婦人科学会のホームページより、**前日までに事前登録**をお願いします。
2. 後日オンデマンド配信中にも**事後登録**は可能です。
3. 講演時間は 9 分 (発表 6 分、質疑 3 分)。
4. 発表は事務局で用意した Windows PC で行います。USB メモリーに発表データを入れてお持ちください。予備として発表データが入った PC 本体もお持ちください。
5. 会場に用意する PC のアプリケーションは Windows Microsoft PowerPoint2019 です。
*Macintosh をご使用の方は、必ずパソコンと専用コネクタをお持ち下さい。
*プロジェクターとの接続ケーブルコネクタは、HDMI 又はミニ D-Sub 15 ピンです。
*発表者ツールのご利用はできません。発表資料は事前にプリントアウトの上お持ちください。
6. 評議員の先生には事前にお申し込みをされた方にお弁当(実費 1,000 円)をご用意します。
7. 評議員の先生のお食事会場は、北九州国際会議場 21 会議室になります。
8. 今回の専門医共通講習は、現地開催とオンデマンド配信を予定しています。オンデマンド配信を視聴では、講習終了後の設問 (5 択) に正解した場合に、専門医共通講習の医療倫理 (必須) 1 単位が付与されます。
9. 学会に関するお問い合わせは担当校 (産業医科大学 担当: 西村) までご連絡下さい。

担 当 産業医科大学 産科婦人科学教室

主 催 福岡ブ ロ ッ ク

専門医機構認定共通講習（専門医共通講習）

13：10 ～14：10

座長：吉野 潔（産業医科大学）

「医学研究と倫理」

～産科婦人科領域の研究における患者・市民参画（PPI）～

石丸 知宏（産業医科大学 医学部 医学概論 教授）

※本講習の受講により、「専門医共通講習:医療倫理（必修）1 単位」が付与されます。

一 般 演 題

14：15 ～17：35

第1群）14：15～15：05

座長：小 玉 敬 亮（九州大学）

1. 腹腔鏡下手術により診断した卵巣妊娠破裂の一例

大牟田市立病院

○杉 悠・富 田 稜

上 原 真 実・坂 田 光太郎

村 上 文 洋

2. 腹腔鏡下手術で治療した単一胚移植後の正所異所同時妊娠の1例

福岡赤十字病院

○山 道 力 子・濱 崎 洋一郎

中 尾 智 美・竹 内 優
江 崎 高 明・古 賀 万里子
衛 藤 遥・貴 島 雅 子
和 田 智 子・藤 田 恭 之
西 田 眞

3. 当院で行った腹腔鏡下子宮頸管縫縮術の2例

九州大学病院

○田 中 万 輝・中 原 一 成
松 崎 聖 司・杉 浦 多佳子
清木場 亮・坂 井 淳 彦
城 戸 咲・矢 幡 秀 昭

4. 深部子宮内膜症(Deep Endometriosis: DE)を背景とした子宮動脈仮性動脈瘤破裂により妊娠を中絶するに至った1例

九州医療センター

○牛 島 崇・瓦 林 靖 広
杉 本 愛 沙・中 村 鞠 那
榊 美香子・鈴 木 りりこ
川 上 穰・槁之浦 佳 奈
黒 川 裕 介・早 瀬 千 尋
藤 原 ありさ・小 川 伸 二

5. 腹腔鏡下両側付属器切除術後に診断された卵管癌 IA 期の一例

社会保険田川病院

○竹 内 敬 祐・葉 高 杉
藤 井 毅・蜂須賀 徹
黒 松 肇
同 病理診断科 三 原 勇太郎

第2群) 15:05~15:55

座長: 友 延 寛 (九州大学)

1. MPA療法により長期CRを維持した子宮体癌IVB期の1例

聖マリア病院

○片岡 凛・浦郷 康平
池澤 佳子・平野 佑季
島内 明子・江島 有香
田邊 優介・立野 崇正
石黒 元・石原 絢音
井上 麻実・朴 鐘明
下村 卓也・寺田 貴武

2. Lenvatinib、Pembrolizumab 併用療法中に腸管穿孔をきたした子宮体癌再発の1例

済生会福岡総合病院

○真島 結子・田渕 景子
井崎 愛音・眞鍋 有紀子
遅野 井彩・米田 智子
松浦 俊明・西 大介
丸山 智義

3. 放射線治療用吸収性組織スペーサを併用した再発卵管癌肉腫の一例

産業医科大学

○石橋 咲季・原田 大史

	植 田 多恵子・武 富 瑠 香
	遠 山 篤 史・金 城 泰 幸
	村 上 緑・西 村 和 朗
	栗 田 智 子・吉 野 潔
同 産業保健学部広域発達看護学	松 浦 祐 介

4. 術前に再発低リスク群と推定された子宮体癌に対する当院の手術成績

済生会福岡総合病院	○井 崎 愛 音・米 田 智 子
	真 島 結 子・田 淵 景 子
	眞 鍋 有紀子・遅野井 彩
	松 浦 俊 明・西 大 介
	丸 山 智 義

5. 進行・再発子宮体癌に対するペムブロリズマブ併用化学療法の当院における導入時使用経験

福岡大学	○八 谷 祥・井 手 麻 由
	大 山 尚 彦・中 尾 優 衣
	石 田 倖 子・諸 井 明 仁
	清 島 千 尋・吉 川 賢 一
	宮 田 康 平・四 元 房 典

第 3 群) 15 : 55～16 : 45

座長： 蜂須賀 一 寿 (九州大学)

1. 子宮全摘術後9年で骨盤内再発をきたした悪性度不明な平滑筋腫瘍(STUMP)の一例

九州医療センター

○榊 美香子・杉 本 愛 沙
中 村 鞠 那・牛 島 崇
鈴 木 りりこ・川 上 穰
槁之浦 佳 奈・黒 川 祐 介
早 瀬 千 尋・瓦 林 靖 広
藤 原 ありさ・小 川 伸 二

2. 骨盤内に巨大腫瘤を形成し卵巣未分化胚細胞腫との鑑別を要した悪性リンパ腫の一例

九州大学病院

○岩 見 彩 紀・友 延 寛
上 瀧 貴 雅・廣 谷 賢一郎
中 島 京・片 山 由 大
井ノ又 裕 介・蜂須賀 一 寿
前之原 章 司・小 玉 敬 亮
八 木 裕 史・小野山 一 郎
浅野間 和 夫・矢 幡 秀 昭

3. 婦人科癌に伴う癌性髄膜炎の検討

久留米大学

○原 田 薫 乃・那 須 洋 紀
沖 栄 鴻・宮 城 湧 平
重 川 公 弥・岡 洋 甫
山 川 理 子・清 家 崇 史
山 田 空 明・河 野 雅 法
吉 満 輝 行・勝 田 隆 博
田 崎 和 人・西 尾 真
津 田 尚 武

4. 骨盤臓器脱術後患者に対する骨盤底リハビリテーション導入初期の経験

福岡みらい病院

○茗 荷 舞・片 岡 恵 子

5. 子宮頸管妊娠3症例に対するバソプレシン局注および頸管内バルーンタンポナーデによる保存的治療の経験

北九州市立医療センター

○川 浪 芙美恵・瓜 生 泰 恵
森 下 佳 登・田 中 愛理佳
大 塚 裕一郎・末 永 美祐子
井 上 修 作・原 枝美子
北 出 尚 子・西 村 淳 一
兼 城 英 輔・高 島 健
尼 田 寛

第4群) 16:45~17:35

座長： 中 原 一 成 (九州大学)

1. 妊娠後期に肝機能障害を来たし、診断に苦慮した妊娠性肝内胆汁うっ滞症の1例

福岡山王病院

○坂 田 暁 子・杉 谷 麻伊子
吉 田 至 幸・松 本 恵
小 金 丸泰子・磯 邊 明 子

加 藤 聖 子

2. 胎盤機能不全を認めた梅毒合併妊娠の一例

産業医科大学

○梶 浦 花 香・田 尻 亮 祐
澤 田 佳 乃・花 川 鈴
三尾母 沙 希・倉 恒 克 典
飯 尾 一 陽・柴 原 真 美
愛 甲 悠希代・吉 野 潔
同 薬剤部 稲 村 由 香

3. 多発子宮筋腫合併の前期破水・足位に対し超早産期の帝王切開術を施行した 1 例

久留米大学

○新 堂 慎太郎・堀之内 崇 士
嵩 あおい・田 邊 美 紀
柏 田 浩 伸・下 村 峻 司
市 川 晶・宮 原 英 之
宗 邦 夫・清 水 隆 宏
森 岡 将 来・横 峯 正 人
津 田 尚 武

4. 当院での帝王切開術時における子宮切開創縫合法に関して

田川市立病院

○藤 田 拓 司・馬 場 春 美
野 田 貴美子・椎 名 隆 次

5. びまん性平滑筋腫合併妊娠に対する術中超音波ガイド下帝王切開

福岡大学

○中 村 佳 帆・永 田 浩士郎
石 田 智 大・松 崎 舟

林 田 知 侑・尾 崎 知 佳
 徳 永 奈 穂・濱 田 奈 央 子
 木 村 い ぶ き・荒 木 陵 多
 讃 井 絢 子・平 川 豊 文
 漆 山 大 知・四 元 房 典

【北九州国際会議場へのアクセス】



JR小倉駅から徒歩 9 分



各種会議は21会議室
 講演はメインホール